

第59回企画展

むかしのくらし

～先人の営みに学ぶ～



平成26年1月10日(金)～3月26日(水)

岩手県立農業ふれあい公園 農業科学博物館

自給自足を基本とした昔の暮らしでは、衣・食・住の生活に必要な身の周りの物や、農作業等仕事に必要な道具のほとんどを自から作り、使いこなしていました。

人々は働いては奉り、奉っては働くという、物と心の調和を保って生きてきました。このため、くらしの安泰を求めて、神に対し、祈願と報謝をしてきました。神に捧げる最も重要なものが神饌、すなわち飲食の供物でありました。そのため、「食物を確保」するために、自然採取から栽培へ知恵を出し、技を磨き、生活を営んできました。

住まいでは、火を使う場所として囲炉裏が設けられました。農家には囲炉裏があり、これ一つで暖を取り、炊事をし、土間での夜なべ仕事をするなど、炊事と暖房と照明の三つの機能が一体化した囲炉裏中心の暮らしがなされていました。

今回の企画展では、季節の節目に神仏に祈りを捧げ、こころをひとつにして暮らしを営んだ「むかしのくらし」について映像で学ぶ場を提供します。併せて遠野郷の伝統食「ひなまんじゅう」「けいらん」「かねなり」「干しもち」「鎌焼きもち」の作り方を映像で学ぶ場を提供します。



岩手県立農業ふれあい公園

農業科学博物館

北上市飯豊 3-110 TEL : 0197-68-3975

開館時間／9:00～16:30(入館は16:00まで)

休館日／月曜日(月曜日が祝日の場合は火曜日)

入館料／一般290円 学生140円 高校生以下は無料

団体割引等(20名以上)あります

駐車場／大型バス12台 普通車240台 身障者専用5台